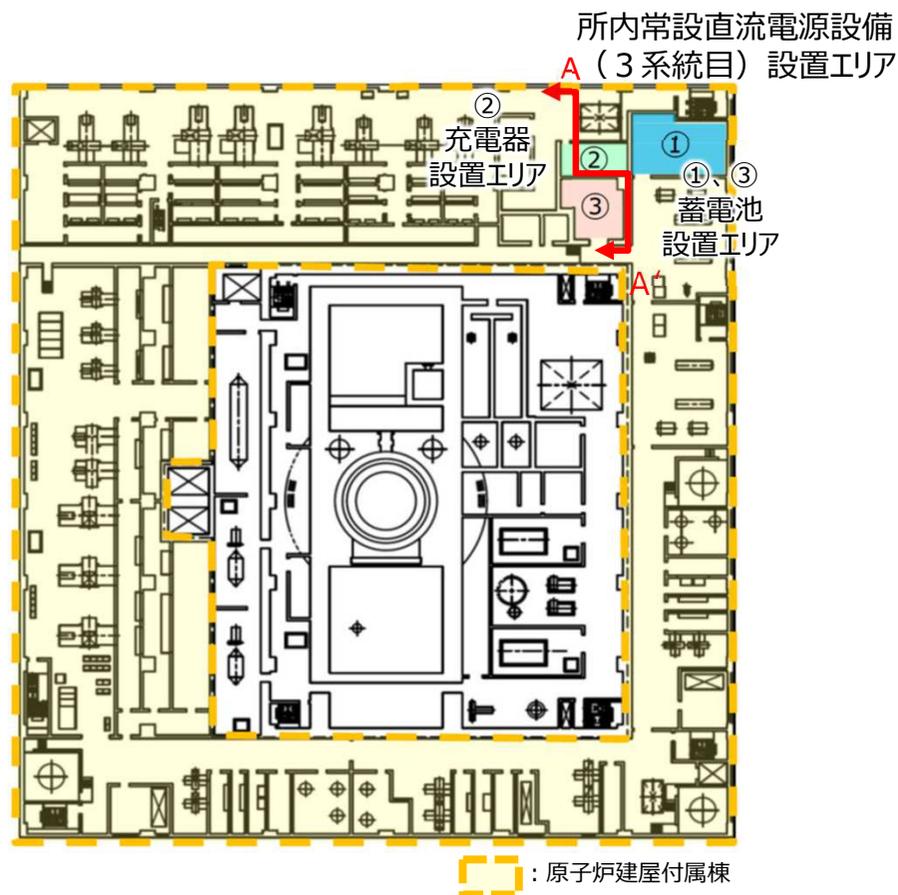


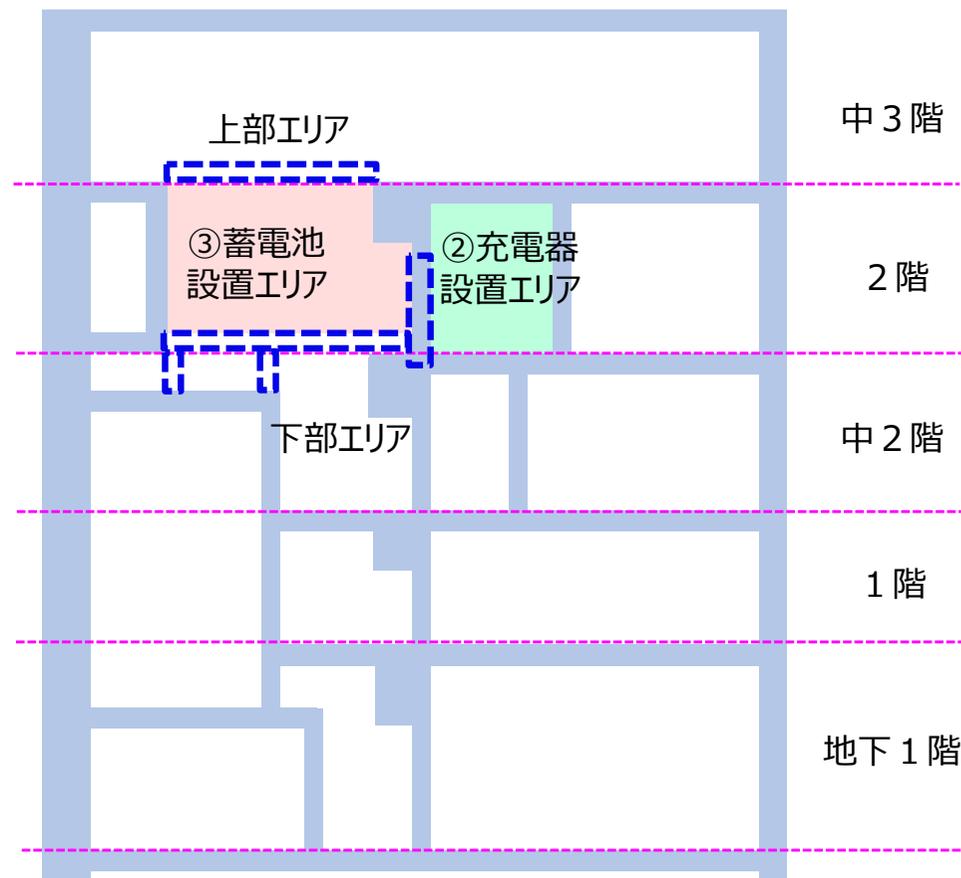
## (別紙2) 女川2号機 所内常設直流電源設備 (3系統目) の工事について

- 全交流電源を喪失した際に、重大事故等の対応に必要な設備に直流の電気を供給するための設備であり、現在設置済みである2系統の直流電源設備に加え、更なる信頼性向上を目的に、新たに原子炉建屋に設置するものです。
- 女川原子力発電所における施設の配置上、原子炉建屋内の既設設備を撤去したうえで、新たに床や天井、壁を設けて蓄電池や充電器などの電源設備を設置する必要があるため、大規模な工事となっています。
- こうした大規模な工事であることを踏まえ、当社では、早期の完成に向けた取り組みを継続しながら、安全最優先で工事を進めています。
- 今般、工事仕様の詳細が固まってきたことから、工程を改めて精査した結果、昨今の建設業界における労働環境の変化による影響などの外的要因が発生している状況も踏まえ、工事完了時期を「2028年3月」に見直すこととしました。



原子炉建屋地上2階

《所内常設直流電源設備 (3系統目) 設置場所と工事のイメージ》



A-A'断面イメージ

新設する床や天井、壁